

久留米市美術館 開館10周年記念展

出品目録

# 美の新地平

石橋財団アーティゾン美術館のいま

The 10th Anniversary of Kurume City Art Museum

New Horizons of Beauty

The Latest Collection of Artizon Museum, Ishibashi Foundation

2026

2.14<sup>SAT</sup> → 5.24<sup>SUN</sup>

※4月6日に一部展示替えを行います。

主催 | 久留米市美術館、西日本新聞社、読売新聞社、テレQ

特別助成 | 公益財団法人石橋財団 後援 | 久留米市教育委員会



久留米市美術館  
KURUME CITY ART MUSEUM  
ISHIBASHI CULTURAL CENTER



公益財団法人  
石橋財団  
Ishibashi Foundation

〒839-0862 福岡県久留米市野中町1015 Tel: 0942-39-1131 Fax: 0942-39-3134

<https://www.ishibashi-bunka.jp/kcam>

出品作品リスト

[凡例] 作品番号 | 作者名 | 作品名 | 制作年 | 技法・素材

## 第1章 抽象絵画

01	ジャン・デュビュッフェ	泥の中の顔	1946年	オートバット・カンヴァス
02	ジョルジュ・マチュー	10番街	1957年	油彩・カンヴァス
03	ウィレム・デ・クーニング	一月	1947-48年	油彩・カンヴァスに貼られた紙
04	エレイン・デ・クーニング	無題(闘牛)	1959年	油彩・カンヴァス
05	ジャクソン・ポロック	ナンバー2、1951	1951年	油彩・カンヴァス
06	ジョアン・ミッチェル	ブルー・ミシガン	1961年頃	油彩・カンヴァス
07	ヘレン・フランケンサラー	ファースト・ブリザード	1957年	油彩・カンヴァス
08	アレクサンダー・コールドー	単眼鏡	1947年	金属の板に彩色
09	マーク・トビー	傷ついた潮流	1957年	テンペラ・板に貼られた紙

10	マーク・ロスコ	無題	1969年	アクリル・カンヴァスに貼られた紙
11	ザオ・ウーキー	水に沈んだ都市	1954年	油彩・カンヴァス
12	堂本尚郎	集中する力	1958年	油彩・カンヴァス
13	元永定正	無題	1965年	油性合成樹脂塗料・カンヴァス(板に貼付)
14	ロベール・ドロローネー	街の窓	1912年	油彩・厚紙
15	ヴァシリー・カンディンスキー	自らが輝く	1924年	油彩・カンヴァス
16	フランティセック・クプカ	赤い背景のエチュード	1919年頃	油彩・カンヴァス
17	ジーノ・セヴェリーニ	金管奏者(路上演奏者)	1916年頃	油彩・カンヴァス
18	ウンベルト・ボッチョーニ	空間における連続性の唯一の形態	1913年(1972年 casting)	ブロンズ
19	ジョージア・オキーフ	オートム・リーフ II	1927年	油彩・カンヴァス
20	安齊重男	堂本尚郎、作家スタジオ、 東京、1980年6月	1980年 / 2017年	ゼラチンシルバープリント
21	安齊重男	堂本尚郎、ツァイト・フォト・サロン、 東京、1980年6月	1980年 / 2017年	ゼラチンシルバープリント
22	安齊重男	元永定正、インスタレーション、 ヴェネツィア・ビエンナーレ、1993年6月	1993年 / 2018年	ゼラチンシルバープリント
23	安齊重男	元永定正、ヴェネツィア・ビエンナーレ、 1993年6月	1993年 / 2018年	ゼラチンシルバープリント
24	ポール・ゴーガン	乾草	1889年	油彩・カンヴァス
25	アンリ・マティス	画室の裸婦	1899年	油彩・紙
26	アンリ・マティス	コリウール	1905年	油彩・厚紙
27	モーリス・ド・ヴラマンク	色彩のシンフォニー(花)	1905-06年頃	油彩・カンヴァス
28	ポール・セザンヌ	サント=ヴィクトワール山と シャトー・ノワール	1904-06年頃	油彩・カンヴァス
29	エミール・ベルナール	ポール・セザンヌ	不明	ゼラチンシルバープリント
30	アンドレ・ドラク	女の頭部	1905年頃	油彩・カンヴァス
31	ジョアン・ミロ	シウラナの教会	1917年	油彩・カンヴァス
32	ジャン・メッツァンジェ	キュビスムの風景	1911-12年	油彩・カンヴァス
33	パブロ・ピカソ	ブルゴーニュのマル瓶、グラス、新聞紙	1913年	油彩、砂、新聞紙・カンヴァス
34	ジョルジュ・ブラック	円卓	1911年	油彩・カンヴァス
35	ファン・グリス	新聞と開かれた本	1913-14年	油彩・カンヴァス

## 第2章 印象派プラス

36	ビエール=オーギュスト・ルノワール	花のついた帽子の女	1917年	油彩・カンヴァス
37	エドゥアール・マネ	自画像	1878-79年	油彩・カンヴァス
38	エドガー・ドガ	レオポール・ルヴェールの肖像	1874年頃	油彩・カンヴァス
39	ベルト・モリゾ	バルコニーの女と子ども	1872年	油彩・カンヴァス
40	エヴァ・ゴンザレス	眠り	1877-78年頃	油彩・カンヴァス
41	マリー・ブラックモン	セーヴルのテラスにて	1880年	油彩・カンヴァス
42	メアリー・カサット	日光浴(浴後)	1901年	油彩・カンヴァス
43	ナダール (フェリックス・トゥールナション)	エドゥアール・マネ	不明	鶏卵紙
44	アルベール・バルトロメに帰属	エドガー・ドガ	1912年	ゼラチンシルバープリント
45	ラウル・オスタン	死の床のエヴァ・ゴンザレス	19世紀	鶏卵紙
46	ドルナック(ポール・マルサン)	フェリックス・ブラックモン	1904年	ゼラチンシルバーPOP

## 第3章 近世美術プラス

47	伝 俵屋宗達	伊勢物語図色紙 彦星	江戸時代	17世紀	紙本著色	前期展示(2/14~4/5)
48	尾形光琳	孔雀立葵図屏風	江戸時代	18世紀	紙本金地著色	後期展示(4/7~5/24)
49	伝 俵屋宗達	源氏物語図 空蝉	江戸時代	17世紀	紙本着色	前期展示(2/14~4/5)
50	伊年印	源氏物語図 浮舟、夢浮橋	江戸時代	17世紀	紙本著色	前期展示(2/14~4/5)

## 第4章 パウル・クレー・コレクション

51	パウル・クレー	小さな抽象的-建築的油彩 (黄色と青色の球形のある)	1915年	油彩・厚紙
52	パウル・クレー	庭園の家	1919年	油彩、グワッシュ・カンヴァス
53	パウル・クレー	ストロベリーハウスの建築工事	1921年	油彩・厚紙
54	パウル・クレー	南にある山村	1923年	油彩・厚紙
55	パウル・クレー	寓意的な小立像(消えていく)	1927年	油彩・木枠に貼られた厚紙
56	パウル・クレー	家の投影	1923年	水彩、インク・厚紙に貼られた紙
57	パウル・クレー	庭の幻影	1925年	油彩・木枠に貼られた厚紙
58	パウル・クレー	POTの庭	1926年	油彩・木枠に貼られた厚紙
59	パウル・クレー	宙飛ぶ竜の到着	1927年	油彩・カンヴァス

60	パウル・クレー	負け試合	1928年	油彩・厚紙に貼られ 石膏を下塗りしたカンヴァス
61	パウル・クレー	双子	1930年	油彩・カンヴァス
62	パウル・クレー	小さな港	1937年	油彩、グラファイト・板

## 第5章 日本近現代プラス

63	青木繁	海の幸	1904年	油彩・カンヴァス
64	坂本繁二郎	幽光	1969年	油彩・カンヴァス
65	藤島武二	黒扇	1908-09年	油彩・カンヴァス
66	藤島武二	東洋振り	1924年	油彩・カンヴァス
67	中村彝	向日葵	1923年	油彩・カンヴァス
68	安井曾太郎	座像	1929年	油彩・カンヴァス
69	岡鹿之助	群落B	1961年	油彩・カンヴァス
70	清水多嘉示	レア嬢	1926年	石膏原型
71	清水多嘉示	憩いの読書	1928年	油彩・カンヴァス
72	村上三郎	作品	1961年	合成樹脂塗料・綿布
73	上前智祐	作品	1966年	油彩・カンヴァス
74	田中敦子	無題	1965年	合成樹脂エナメル塗料・カンヴァス
75	正延正俊	作品	1965-67年	エナメル・カンヴァス
76	白髪富士子	無題	1955年頃	和紙
77	白髪一雄	昏社	1990年	油彩・カンヴァス
78	草間彌生	無題(無限の網)	1962年頃	油彩・カンヴァス

## 第6章 同時代の美術家たちと

79	森村泰昌	M式「海の幸」第3番：パノラマ島綺譚	2021年	発色現像方式印画、透明メディウム
80	鴻池朋子	襖絵(地球断面図、流れ、竜巻、石) (18面のうち4面)	2020年	水彩絵具、鉛筆、石、雲肌麻紙(襖)

### 石橋正二郎記念館リニューアル

久留米市美術館とともに開館した石橋正二郎記念館が10周年を迎えるにあたり、公益財団法人石橋財団のご寄付により、設備やコンテンツを一新してリニューアルオープン。株式会社プリチストンの創業者である石橋正二郎を顕彰する全国唯一の公開施設です。